

神奈川私学保連 NEWS

私学保護者会連合会の 活動目的について

神奈川県私学保護者会連合会

会長 鴨下 博厚

(洗足学園中学高等学校 洗足会顧問)



新年度に入り、新しい学校生活を迎えられた保護者の皆様、お子様の入学おめでとうございます。また日頃より、私学保護者会連合会の活動にご協力をいただいている加盟校の皆様、今年度もよろしくお願いいたします。

2020年度は新型コロナウイルスによる感染症の拡大と、2度にわたり発出された緊急事態宣言などにより、本会も5月の定時総会を書面総会に変更、講演会などの研修事業を中止にするなど、活動に大きな制約のあった一年となりました。2021年度も、現時点ではどこまで活動できるのか全く見通せない状況にありますが、各校から本会に出向してくださっている役員の皆様と力を合わせて、より良い活動を目指してまいります。

この会の最大の活動目的は、県内の私立学校に通う全ての生徒達の教育環境を、より良いものにしていくことにあります。もちろん、私立学校はそれぞれが独自の建学の精神を持ち、それに基づいた教育方針を掲げ、特色ある教育を行っています。それは保護者会も同様で、それぞれが独自の活動をされています。

しかしながら、より良い教育環境を整備していくための私学助成金の一層の充実・拡充は各校に共通の課題であり、学校の団体である私立中学高等学校協会と我々保護者会の団体が一緒になって行政に要望していかなければ、なかなか前進しないこともあります。

保護者の負担である授業料の無償化は、経済条件付きながら進めたいと思いますが、学校に対する助成金である経常経費の補助額は、神奈川県は全国で最下位に近いレベルに止まっています。このお金は、教育施設の整備などのために支払われるものであり、子ども達の教育環境の向上に必要なものです。今後も、本会の活動目的に明記されている「学校教育の充実発展に寄与する」ために、私学助成の充実・拡充を目指してまいります。

昨年度は、中止とした研修事業の代替策として、「私学保連NEWS」の特別編集版を発行いたしました。この時期に、保護者の皆様を知って頂きたい情報をお届けできたことは、十分に意義があったと考えています。今年度も活動が大きく制限されると思いますが、役員の皆様と知恵を絞って活動してまいりますので、会員の皆様には一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

生徒に寄り添う神奈川私学

一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会

理事長 工藤 誠一

(聖光学院中学校高等学校 理事長・校長)



新入生を迎えて新しい年度が始まりました。コロナウイルスの影響は今年度も予断を許さない状況にあります。昨年、生徒たちはスポーツ・文化活動をはじめ様々な場面で感染防止のために制約を余儀なくされました。協会の行事も中学入試相談会・全私学展・私学振興大会などが中止に追い込まれました。

今年もその影響が残りますが、できるだけのことを実現しようとしています。中学入試相談会も対面では実施できないもののWebで開催します。ワクチンの効果など

もあり年度後半からは以前の状況に回復して各校の教育活動ができるよう期待したいと思っています。

私学協会では、昨年の困難な状況にあっても6月に不登校生徒のための修学支援センターを私学会館に開設しました。当初は中学生だけを対象にしておりましたが、今年度からは高校生の利用もできるようになります。この修学支援センターは生徒たちのシェルターであります。ここで回復のきっかけを作り、やがて原籍校へ復帰するというプログラムを準備しています。学習サポート、生徒同士の交流を促進するアクティビティ、カウンセラーとの相談なども受けられ、原籍校復帰へのお手伝いをします。全国でも私学に通う生徒のためにこうした複合的なセンターがあるのは神奈川県私学だけです。

2021年度の高校入試においても授業料の補助が充実してきたことから私学への進学を希望する生徒さんが増えてきました。定員割れの状況はむしろ公立高校でも深刻になっているようです。学費の差がなければぜひ私学へ通わせたいという保護者の皆様の要望は以前より根強く存在していました。また、コロナの休校期間中も私学各校がいち早くWebによるオンライン授業に対応したことなども私学教育の良さを評価いただくきっかけになったと思っています。

今後も加盟各校それぞれの独自性を活かしながら、ともに歩む神奈川私学としての連携を深めていく方針です。生徒一人当たりの経常費補助金を国の財政措置額まで引き上げるとは神奈川私学の悲願であります。その悲願達成は有権者である保護者の皆様の強力な後押しが必要です。今年度も明日を夢見る若人たちのために協会は保護者の皆様と共に歩んでまいります。引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度

私学助成の概要

神奈川県福祉子どもみらい局
子どもみらい部私学振興課

私学助成につきましては、県の教育における私立学校の果たしている役割や県内約百五十万人の児童・生徒等の約二十五％に当たる約二十六万人が在学していることを踏まえ、

①教育条件の維持向上

②児童生徒の修学上の経済的負担の軽減

③学校運営の健全性の向上

の三つを柱に様々な助成を従来から行っています。令和三年度の概要は次のとおりです。

一 当初予算編成方針

令和三年度は、危機的な財政状況の中、県主催イベントや国外派遣の原則中止・延期等といった徹底した事業見直しに加え、県債や財政調整基金の活用など必要な対応を図り、新型コロナウイルス感染症対策として、医療提供体制の維持や県内経済の着実な回復に向けた施策を的確に、かつ、スピード感を持って実施するための予算を編成しました。水防戦略の推進や県立教育施設の整備など、県民生活に直結する事業については、着実に推進する。本番を迎える東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について、万全の感染症対策を実施したうえで最大限盛り上げ、神奈川の魅力を世界に発信するというメッセージを明確に打ち出したものとなっています。

二 一般会計

本県の令和三年度一般会計当初予算は、二兆四百八十四億千九百万円で、前年度に比べ、千四百四十八億二千九百万円、七・六％の増となっています。

三 私学振興費

私学振興費につきましては、総額約六百七十五億五百四十九万円で、前年度に比べ約十六億九千四百七十九万円の減となっています。

この大きな要因は、私立幼稚園への経常費補助や私立幼稚園利用給付費負担金等の減によるものですが、いずれも実績を踏まえた経費を計上したものととなっています。

(一) 経常費補助

私立学校の経常的な経費に対する助成は、標準的運営費方式と補助率を維持しており、四百二十七億三千八百八十一万円で、前年度に比べ、三億一千八百十九万円の減となっています。

校種別では、**高等学校**は、二百十七億二十三万円で、前年度に比べ、二・一％の増となっています。

中等教育学校は、六億六千四百四十四万円で、前年度に比べ、〇・六％の増となっています。

中学校は、五十七億二千四百二十二万円で、前年度に比べ、〇・九％の増となっています。

小学校は、二十六億六千六百二十九万円で、前年度に比べ、〇・四％の増となっています。

(二) 高等学校等就学支援事業・生徒学費補助・奨学給付金

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、高等学校等就学支援金及び生徒学費補助により、家庭の教育費負担の軽減を図る事業で、予算額は、就学支援金と学費補助を合わせて、百三十九億三千四百八十一万円で、前年度に比べ、一・一％の増となっています。

学費補助においては、年収約七〇〇万円未満の世帯までの授業料及び住民税非課税世帯までの入学金の実質無償化を着実に実施します。

また、奨学給付金について、住民税所得割非課税世帯の補助単価を増額しています。

(三) 小中学校等就学支援事業補助金

私立小中学校等に通う児童・生徒が安心して教育を受けられるよう、私立小中学生等のいる年収四百万円未満の世帯に対して授業料の支援を行うもので、予算額は、二千五百八十万円となっています。

(四) 被災児童生徒就学支援補助金

東日本大震災や大規模災害により被災した幼児児童生徒の授業料等の減免措置を行った私立学校

の設置者に対して補助するもので、予算額は、五百六十九万円の増となっています。

(五) 生徒学費緊急支援補助金

保護者の失職や倒産等により、家計が急変した児童・生徒の学費負担の影響を軽減するため、授業料を軽減した私立高等学校等に補助するもので、予算額は、千四百十九万円の増となっています。

(六) 私立学校教職員退職金制度補助金

私立学校教職員に対する退職手当金の給付財源の一部を補助し、教職員の福利厚生への支援を図るもので、予算額は、九億五千三百六十一万円の増となっています。

(七) 私学団体助成費

私学保護者会連合会をはじめ私学団体が行っている教職員の資質向上やいじめ・暴力行為防止研修等に対し補助するもので、予算額は、六百四十万円となっています。

(八) 公私立学校協調事業費

公立、私立の枠組みにとらわれず、公教育を担う公私の高等学校が協調を深め、それぞれの特色を生かしながら、共に向上できるよう神奈川の高校展開事業及び公私教員研修事業等を実施するもので、予算額は、三百三十万円となっています。

(九) 私立専門学校修学支援負担金

少子化対策のため、低所得世帯であっても社会で自立し活躍できる人材を育成する大学等において修学できるよう、私立専門学校が実施する修学支援（授業料等減免）の費用を負担するもので、予算額は、七億五千万円となっています。

(一〇) 日本私立学校振興・共済事業団補助金

私立学校教職員の福利厚生への支援を図るため、私学共済の長期給付事業の一部に対し補助するもので、予算額は、六億六千八百九十万円の増となっています。

以上が令和三年度当初予算の主な内容です。今後とも、皆様の私学行政に対するご理解とご協力をよろしく願います。

令和 3 年度当初予算（案）私学振興費の概要

私学振興課

事業名等		令和3年度	令和2年度	比較増減	前年度比	摘 要																												
		当初予算額	当初予算額																															
1	経常費補助 〔 〕は内数	千円 42,738,812	千円 43,057,006	千円 △ 318,194	% 99.3	教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費や特色ある教育への取組みに対して補助する。 〔 教育改革推進費 〕 ○補助単価の増（次世代を担う人材育成の促進） 〔 幼稚園 〕 ○補助対象園数の減 328 園← 352 園 (24 園減) 〔 預かり保育 〕 ○補助単価の増 ○補助対象園数の減 228 園← 251 園 (23 園減) 〔 地域開放 〕 ○補助対象園数の減 233 園← 240 園 (7 園減)																												
(1)	高等学校 〔 教育改革推進費 〕	21,700,235 〔 263,670 〕	21,249,288 〔 263,250 〕	450,947 〔 420 〕	102.1																													
(2)	中等教育学校 〔 教育改革推進費 〕	661,149 〔 15,028 〕	656,948 〔 15,328 〕	4,201 〔 △ 300 〕	100.6																													
(3)	中学校 〔 教育改革推進費 〕	5,724,122 〔 149,340 〕	5,674,939 〔 149,340 〕	49,183 〔 0 〕	100.9																													
(4)	小学校 〔 教育改革推進費 〕	2,666,299 〔 76,240 〕	2,655,451 〔 76,340 〕	10,848 〔 △ 100 〕	100.4																													
(5)	特別支援学校	563,458	558,330	5,128	100.9																													
(6)	幼稚園 〔 預かり保育推進費 〕 〔 地域開放推進費 〕	9,839,913 〔 351,540 〕 〔 150,800 〕	10,808,462 〔 375,033 〕 〔 155,000 〕	△ 968,549 〔 △ 23,493 〕 〔 △ 4,200 〕	91.0																													
(7)	専修・各種学校 〔 高等課程 〕 〔 専門課程 〕 〔 一般課程・各種学校 〕	1,583,636 〔 282,195 〕 〔 1,301,441 〕 〔 0 〕	1,453,588 〔 238,855 〕 〔 1,214,733 〕 〔 0 〕	130,048 〔 43,340 〕 〔 86,708 〕 〔 0 〕	108.9																													
2	私立幼稚園特別 支援教育費補助	1,697,360	1,895,712	△ 198,352	89.5	障がいのある幼児とともに学び、ともに育つ保育を推進するため、障がいのある幼児を受け入れる幼稚園に対して補助する。 ○補助対象園児数の減 2,310 人← 2,568 人 (258 人減)																												
3	高等学校等就学 支援事業費	10,431,787	10,156,229	275,558	102.7		家庭の状況にかかわらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、高等学校等就学支援金及び生徒学費補助により、世帯の教育費負担の軽減を図る。 ○年収約 700 万円未満の世帯までの授業料及び住民税非課税世帯までの入学金の実質無償化を着実に実施する。 (学費補助金の制度) ○授業料 (単位:円)<table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>支援額 合 計</th><th>就学支援</th><th>学費補助</th></tr><tr><td colspan="2">生活保護世帯</td><td rowspan="4">444,000</td><td rowspan="3">396,000</td><td rowspan="3">48,000</td></tr><tr><td colspan="2">住民税非課税世帯（年収 270 万円未満世帯）</td></tr><tr><td colspan="2">年収約 270 万円以上年収 590 万円未満世帯</td></tr><tr><td colspan="2">年収約 590 万円以上年収 700 万円未満世帯</td><td>118,800</td><td>325,200</td></tr><tr><td colspan="2">年収約 700 万円以上年収 750 万円未満世帯</td><td>193,200</td><td>118,800</td><td>74,400</td></tr><tr><td colspan="2">年収約 750 万円以上年収 910 万円未満世帯</td><td>118,800</td><td>118,800</td><td>0</td></tr></table>	区 分		支援額 合 計	就学支援	学費補助	生活保護世帯		444,000	396,000	48,000	住民税非課税世帯（年収 270 万円未満世帯）		年収約 270 万円以上年収 590 万円未満世帯		年収約 590 万円以上年収 700 万円未満世帯		118,800	325,200	年収約 700 万円以上年収 750 万円未満世帯		193,200	118,800	74,400	年収約 750 万円以上年収 910 万円未満世帯		118,800	118,800
区 分		支援額 合 計	就学支援	学費補助																														
生活保護世帯		444,000	396,000	48,000																														
住民税非課税世帯（年収 270 万円未満世帯）																																		
年収約 270 万円以上年収 590 万円未満世帯																																		
年収約 590 万円以上年収 700 万円未満世帯			118,800	325,200																														
年収約 700 万円以上年収 750 万円未満世帯		193,200	118,800	74,400																														
年収約 750 万円以上年収 910 万円未満世帯		118,800	118,800	0																														
4	私立高等学校等 生徒学費補助金	3,503,025	3,619,403	△ 116,378	96.8	(単位:円) <table><tr><th>区分</th><th>支援額 合計</th><th>就学支援</th><th>学費補助</th></tr><tr><td>生活保護世帯、 住民税非課税世帯</td><td>208,000</td><td>0</td><td>208,000</td></tr><tr><td>年収約 270 万円以上 年収 750 万円未満世帯</td><td>100,000</td><td>0</td><td>100,000</td></tr></table>	区分	支援額 合計	就学支援	学費補助	生活保護世帯、 住民税非課税世帯	208,000	0	208,000	年収約 270 万円以上 年収 750 万円未満世帯	100,000	0	100,000																
区分	支援額 合計	就学支援	学費補助																															
生活保護世帯、 住民税非課税世帯	208,000	0	208,000																															
年収約 270 万円以上 年収 750 万円未満世帯	100,000	0	100,000																															
(1)	高等学校等	3,394,643	3,527,661	△ 133,018	96.2																													
(2)	専修学校高等課程	108,382	91,742	16,640	118.1																													
5	外国人学校生徒等 支援事業費	167,663	167,663	0	100.0	外国人学校に通う子ども達が安心して学ぶことができるよう、所得に応じて学費負担の軽減を図るために補助する。																												
6	小中学校等就学 支援事業補助金	25,800	25,800	0	100.0	私立小中学校等に通う児童・生徒が安心して教育を受けられるよう、私立小中学生等のいる年収約 400 万円未満の世帯に対して授業料の支援を行う。																												
7	被災児童生徒就学 支援補助金	5,697	17,986	△ 12,289	31.7	東日本震災や令和元年台風第 19 号等により被災した幼児児童生徒の授業料等減免措置を行った私立学校の設置者に対して補助する。																												
8	私立学校生徒学費 緊急支援補助金	14,191	14,191	0	100.0	保護者の失職や倒産等により、家計が急変した児童・生徒への影響を軽減するため、授業料を軽減した私立高等学校等に対して補助する。 <table><tr><th colspan="2">高等学校等</th><th>補助額(円)</th><th>小中学校</th><th>補助額(円)</th></tr><tr><td colspan="2">生活保護相当世帯・年収 270 万円程度未満世帯</td><td rowspan="3">396,000</td><td>生活保護 相当世帯</td><td>168,000</td></tr><tr><td colspan="2">年収 270 万円程度以上 年収 350 万円程度未満世帯</td><td>住民税所得 割 非 課 税</td><td>149,000</td></tr><tr><td colspan="2">年収 350 万円程度以上 年収 590 万円程度未満世帯</td><td>一定所得 基準額以下</td><td>90,000</td></tr></table>	高等学校等		補助額(円)	小中学校	補助額(円)	生活保護相当世帯・年収 270 万円程度未満世帯		396,000	生活保護 相当世帯	168,000	年収 270 万円程度以上 年収 350 万円程度未満世帯		住民税所得 割 非 課 税	149,000	年収 350 万円程度以上 年収 590 万円程度未満世帯		一定所得 基準額以下	90,000										
高等学校等		補助額(円)	小中学校	補助額(円)																														
生活保護相当世帯・年収 270 万円程度未満世帯		396,000	生活保護 相当世帯	168,000																														
年収 270 万円程度以上 年収 350 万円程度未満世帯			住民税所得 割 非 課 税	149,000																														
年収 350 万円程度以上 年収 590 万円程度未満世帯			一定所得 基準額以下	90,000																														
9	私立高校生等奨学 給付金事業費	538,602	539,816	△ 1,214	99.8	生活保護世帯、住民税所得割非課税世帯の私立高校生等に対し、授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学給付金を支給する。 ・生活保護世帯 52,600 円 ・住民税非課税世帯 第 1 子 129,600 円 第 2 子以降 150,000 円 通信制 50,100 円																												
10	私立専門学校生徒経済 支援実証研究事業費	8,861	9,133	△ 272	97.0	国の「専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業」への参加を通じて、県内専修学校専門課程に在学する生活保護世帯等の生徒に対し、学費負担の軽減を図るための支援を行う。																												
11	私立幼稚園施設 整備費等補助	524,180	102,442	421,738	511.7	幼児教育の質の向上に必要な遊具等の整備や職員の業務負担を軽減するための費用、認定こども園への移行に係る事務負担軽減や耐震化工事のための費用の一部を補助する。 ・認定こども園移行幼稚園耐震化工事費補助 418,829千円 ・私立幼稚園緊急環境整備費補助 81,192千円 ・私立幼稚園移行準備費補助 6,160千円 ・私立幼稚園園務改善費補助 17,999千円																												
12	私立学校教職員 退職金制度補助金	953,619	953,619	0	100.0	私立学校教職員の福利厚生を支援するため、退職手当金給付財源の一部を補助する。 ・補助率 県 19/1000 ・補助率 県 14/1000 ・補助率 県 19/1000																												
(1)	小・中・高等学校	503,599	503,599	0	100.0																													
(2)	幼稚園	376,634	376,634	0	100.0																													
(3)	専修・各種学校	73,386	73,386	0	100.0																													
13	私学団体助成費	6,400	6,400	0	100.0	私立中学高等学校協会他 4 私学団体の教職員の資質向上やいじめ・暴力行為防止研修事業費等及びその他 3 団体へ補助する。																												
14	公私立学校 協調事業費	3,300	3,160	140	104.4	公私立高等学校による協調事業を実施する。 ・神奈川の高校展事業 1,080千円 ・公私教員研修事業 20千円 ・仕事のまなび場事業 2,200千円																												
15	幼稚園教員復帰等 支援事業費	1,727	1,727	0	100.0	幼稚園の人材確保を支援するため、潜在幼稚園教員の復帰を促進するための現場見学、就職相談会を実施する。																												
16	私立学校グローバル教育 推進事業費補助	0	5,200	△ 5,200	皆減	【新型コロナウイルス感染症感染防止のため令和 3 年度は事業を休止します】																												
17	私立幼稚園利用給付費 負担金	5,402,251	6,117,109	△ 714,858	88.3	少子化対策のため、子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園（私学助成園）の利用料を負担する。																												
18	実費徴収補足給付事業費 補助（私立幼稚園）	24,322	103,974	△ 79,652	23.4	低所得世帯等の園児を対象に、副食材料費の経費として市町村が行う給付費の一部を負担する。																												
19	私立専門学校修学支援 負担金	750,000	1,368,288	△ 618,288	54.8	少子化対策のため、低所得世帯であっても社会で自立し活躍できる人材を育成する大学等において修学できるよう、高等教育の修学支援（授業料等減免）を着実に実施する。																												
20	学校連携観戦チケット 関連事業費	3,186	3,186	0	100.0	東京2020大会の会場観戦を通してスポーツのすばらしさ等を体験し、一生の財産として心に残る大会とするため、子どもたちに東京2020大会の観戦機会を提供する。																												
21	その他	704,708	1,032,240	△ 327,532	68.3																													
合 計		67,505,491	69,200,284	△ 1,694,793	97.6																													

私学振興全国大会に参加して

2020年11月4日(水)東京メルパルクホール

神奈川県私学保護者会連合会

理事 庄司由紀

(横浜富士見丘学園中等教育学校・中学校・高等学校PTA副会長)

11月4日水曜日に東京都港区芝公園のメルパルクホールで私立小学校、中学校、高等学校の私学振興全国大会が開催されました。

今年の私学振興全国大会はコロナウイルス感染拡大を避けるため例年よりかなり少ない出席数となりましたが、無事開催でき実りある機会でした。大会壇上には例年よりも多くの国会議員の方々が御来賓としていらして下さり、私学への理解と保護者の思いをお伝えし、次の4点を決議致しました。大会は盛会のうちに終了致しました。公的助成の数字は上向いて来てはいますが公私間格差はなかなか是正する事は能わず、さらなる教育環境の充実を求めていく必要を感じました。子ども達の明るく豊かな未来に向けて弛まぬ努力を続けたいと思います。

一、私立高等学校等の経営の健全化、保護者負担の軽減及び教育諸条件や施設設備の整備のため、私立学校振興助成法に基づく所要の補助金等の大幅な拡充を図ること

一、学校教育のデジタル化の実現に向けて、私立学校におけるICT環境の整備を促進するため、所要の補助金等の大幅な拡充を図るとともに、「GIGAスクール構想」を高等学校段階まで拡大すること。

一、私立高等学校等施設の耐震化の早期実現と既存の施設設備の更新、長寿命化のため、所要の補助金等の大幅な拡充を図ること

一、私立学校保護者の負担軽減及び公私間格差是正のため、私立高等学校等就学支援金制度の拡充と私立小中学校等就学支援金の恒久化を図ること

2020(令和2)年度第1回
いじめ・暴力行為問題対策協議会

2020年12月9日(水)私学会館講堂

神奈川県私学保護者会連合会

副会長 金子晃久

(英理女子学院高等学校PTA顧問)

神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課が主催する「いじめ・暴力行為問題対策協議会」に出席しました。同課長の山中様、私立中学高等学校

校協会理事長の工藤様のご挨拶に続き、私学振興課の宮崎教育指導主任により、2020年10月20日に記者発表された「令和元年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査の結果について」の概要をご説明いただきました。

平成25年に成立した「いじめ防止対策推進法」では、いじめに対する「組織」を作ることが定められ、学校でのいじめ対策に組織的な対応が求められています。

SNSが普及しパソコンや携帯電話での中傷が増加する中、ウィズコロナと言われ急変する情勢に学校も保護者も苦慮しているとの意見交換が多く行われました。

一方保護者の労働環境の変化も激しく、保護者会連合会としてどのような支援ができるのか模索中ではありますが、少しでもみなさんの笑顔が増えるような施策を検討したいと思っています。

令和2年度
人権・同和及びいじめ問題対策研修会

2020年12月21日(月)私学会館講堂

神奈川県私学保護者会連合会

副会長 深谷祥子

(藤嶺学園藤沢中学校高等学校PTA担当役員)

この研修会は、人権意識を養う視点から、私立学校(幼・小・中・高・中等・特別支援・専修・各種)の教職員を対象に人権尊重の精神を深め学校等における人権教育に関する指導力の向上を図ることを目的としています。またいじめ問題対策研修会は、私立学校における、いじめ等の生徒指導上の諸問題について、その背景や各課題への対応等について理解を深めるとともに各学校の教員が具体的な事例を基に、課題解決に向けた手法等について共通理解を得て、自校の問題解決に積極的に取り組むことができるようにすることを目的としています。

第1部講演では、テレビなどからの情報でなんとなくわかっていふもののLGBTという言葉、概念をとりまく現状を解説いただき、人口の3〜5%1クラスに1〜2人の割合でいること、性的指向≠性嗜好障害であること、性的マイノリティー≠LGBTを明確なカテゴリー1分類できるものではないこと、間違った認識から偏見や差別を生み、健康阻害

やメンタル面への悪影響につながる危険性があること、などを知りました。子ども達を取り巻く環境は、インターネット、SNSの世界にどんどん拡がり、親からみえない交流、情報が交錯しています。

第2部の講演では、神奈川県私学振興課 教育指導主任宮崎佑詩氏から神奈川県の実状についての解説をいただき、その後鈴木氏のご講演を伺いました。いじめの認知件数は、年々上がる傾向にあります。文部科学省では、この傾向は、いじめが増えているのではなく、先生方の初期対応や些細なことと思われることでカウントしていることによると考え、そのいじめ解消率が伸びていることから現場の先生方の努力の結果ととらえているそうです。

インターネット、SNSの時代ですが、アンケート、カウンセリング、ヒアリングなどのアナログな方法が、早期発見、対処につながっていて、先生との信頼関係が重要であるというお話でした。

2020年度下半期
主な行事への出席

◆11月4日(水)

私学振興全国大会(鴨下会長他役員5名)

◆12月9日(水)

2020(令和2)年度第1回「いじめ・暴力行為問題対策協議会」(鴨下会長 深谷副会長 金子副会長)

◆12月21日(月)

令和2年度「人権・同和及びいじめ問題対策研修会」(鴨下会長 深谷副会長)

◆1月15日(金)

私学新春のつどい(開催中止)

※神奈川県私学振興大会、神奈川県主催会議等が新型コロナウイルスのため開催中止となりました。

これからの行事予定

◆4月29日(木)

神奈川県私立中学相談会THE MOVIE

◆5月11日(火)

2020年度会計監査

◆5月

2021年度定時総会(書面総会)

◆7月18日(日)

神奈川県私学(中・高)展

※7月 日本私学保護者会連合会総会

8月 関東地区私学保護者会連合会総会

神奈川県私立中学高等学校案内 ホームページ

<http://www.phsk.or.jp>

●内容 学校情報・入試情報・学費補助

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』

〒221-0833

横浜市神奈川区高島台7番地5

神奈川県私学会館内

☎045(321)1901

■印刷所 『有限会社 イソノ』

〒235-0016

横浜市磯子区磯子3-10-4

☎045(753)2549